

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣の競合店の閉店や、独自のイベントによる影響で来客数が良くなっている。
		その他専門店 [宝石]（経営者）	お客様の様子	・買取り、下取りのセールス展開がようやく実を結び、来客数、客単価とも大幅に前年を上回った。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・受注が前年の2倍の水準で順調に進んでいる。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・人出が多くなり、遅くまでにぎわうようになってきている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・父の日のギフト需要が順調に推移した。特にカジュアル衣料が好調であった。また不振が続いている子供服においても、対前年比のマイナス幅が徐々に縮小している。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・クリアランスセール前は低迷していたが、例年より早く6月末よりクリアランスセールに入り、活気が出てきた。訪問販売では先月より単価は下がったが、宝飾品の売行きは良い。
		百貨店（統括）	販売量の動き	・3か月前に比べると、衣料品の売上を中心に対前年比で良くなってきている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・百貨店の自社カードホルダー向けの優待会などは一定の成果がみられるなど、企画内容によっては業績アップにつながっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・食料品は競合店の出店の影響で厳しい状況であるほか、衣料品も天候の影響で夏物商品は単価が低下しているが、売上は前年をクリアしていることから、まずまずの状況である。
		スーパー（広報担当）	販売量の動き	・食品は農産物の相場安の影響で単価が落ち込み、やや不調であるものの、気温の上昇や販促の効果により、衣料品、住居関連品の季節品を中心に好調である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・空梅雨の影響や気温の上昇により飲料の販売が伸びている。それに伴い、たばこや菓子類などの関連販売も伸びており好調である。また、徐々にではあるが、店頭通信システムによる売上も様々なサービス付加により順調に伸びている。ただ、宅急便がゆうパックに変わった点には不評の声が多い。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・地上デジタル放送の開始を控え、客の関心が高まっている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・天候に恵まれ、売上が過去最高を更新した。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・4、5月はあまり良くなかったが、6月の後半から自動車販売で調子が良くなってきた。恐らく既に賞与をもらった客が購入したものとみられる。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・来客数が増えているほか、販売台数も昨年より20%増加した。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・夏物商品が順調に推移している。店頭販売は引き続き低調であるが、ネット通販部門が好調で、店頭部門の不振をカバーしている。
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・例年6月はバーゲンセール前で売上が落ちるが、今年はちゅうちょなく買う客も少なくなく、売上は減少していない。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数に大きな伸びはみられないが、3か月前と比較すると客単価が約20%上がっている。
		旅行代理店（店長）	来客数の動き	・販売単価は低いものの、来客数が増加し、前年を上回る営業成績となっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・夏の旅行では高額な商品の売行きが好調である。
旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・夏休みの旅行の申込が好調である。気に入った商品があれば多少予算をオーバーしても購入する。7月の前年比は、国内旅行が107%、海外旅行が106%である。		

	その他サービス [ビデオ・CD レンタル] (エ リア担当)	販売量の動き	・レンタル、セル売上ともに、前年の水準を順調にク リアしている。
	住宅販売会社 (経営者)	それ以外	・金融機関各社の住宅ローンの獲得競争が激しくなっ ている。住宅ローンも借りやすくなり始めている。
	住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・他社の販売量をみてみると、不動産の流通量に品薄 感が出ている。
	住宅販売会社 (従業員)	それ以外	・大阪圏においても、不動産ファンドの投資用不動産 への購入意欲が強くなっており、良質な物件は価格が 上昇傾向にある。
	その他住宅[展 示場] (従業 員)	来客数の動き	・6月の展示場来客数は、久しぶりに対前年比プラス に転じた。ゴールデンウィーク後は客足が徐々に回復 しつつある。
変わらない	一般小売店[衣 服] (経営者)	来客数の動き	・商店街の全店舗に対する聞き取り調査では、来客数 は微増であるが増えている。ただ、売上は横ばい及び 微減の店舗が多数を占める。また、旧態依然とした店 舗は売上が大幅にダウンしている。
	一般小売店[時 計] (経営者)	販売量の動き	・月初めはある程度の来客数があったが、月半ばから 急に失速した。異常気象などで消費意欲が失われた感 がある。
	百貨店(売場主 任)	お客様の様子	・売上が前年比マイナス10%以上という落ち込みのな か、話題性のある商品や流行商品のなかには、金額に 関係なく売切れる商品や、好調な売行きを示す商品が ある。一方で、いつでも買える商品に対しては、冷た いほど購買意欲が示されないケースが多い。
	百貨店(売場主 任)	販売量の動き	・中元の早期受注がスタートし、昨年を10%ほど上 回ってはいるが、予想より若干低めである。
	百貨店(売場主 任)	販売量の動き	・前年に比べると化粧品や婦人靴などは好調に推移し ているが、空梅雨のほか、前年の台風接近などの気候 条件を考えると、来客数の割に販売量が伸びていな い。
	百貨店(経理担 当)	お客様の様子	・衣料品のクリアランスセールが近づいており、セー ル待ちで下見している客が例年よりも多い。今までは 何とか前年を確保しているので、今月も多少は売上が 伸びると思うが、客の購買行動は慎重である。
	百貨店(サービ ス担当)	お客様の様子	・中元商戦は、送料が全国一律の商品の増加や割引率 の早期特典の強化により、売上は好調に推移してい るが、夏商材の水着や浴衣の売上は苦戦している。全体 としては、前年売上は確保しているものの、目標予算 達成が難しい状況に変化はない。
	スーパー(店 長)	それ以外	・買物の内容が、食料品以外は良いが食料品は悪いな どバランスが悪い。
	スーパー(経理 担当)	単価の動き	・一定水準の来客数は確保しているが、競合店との価 格競争などで客単価が落ちている。
	コンビニ(店 長)	お客様の様子	・ビールより発泡酒、缶ジュースより量の多い紙パッ クのジュースなど、客は安くても量の多い商品を選ぶ傾 向にある。
	コンビニ(店 長)	販売量の動き	・3～4月累計の既存店売上高の対前年比はマイナス 2.0%で、5月はマイナス3.4%、6月は21日現在でマ イナス3.0%となった。前年に比べてマイナスの要因 は、6月中旬までは気温がやや低めであったことと、 飲料関係で有力な新商品の発売がないことである。
	衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・商店街の客通りも少なく、ヒット商品もなかったの で、依然としてやや悪い状況である。
	家電量販店(企 画担当)	単価の動き	・前半は天候も穏やかでこれといった商品はなかった が、後半になりエアコンが動き始めた。しかし年々単 価は下がる一方である。
	スナック(経営 者)	来客数の動き	・相変わらず曜日により来客数にばらつきがあるが、 金曜日と土曜日の2日間で1週間分のノルマを上げる など、3か月前からのどん底の状態は脱した。
観光型ホテル (経営者)	販売量の動き	・4、5月が非常に悪かったので、それに比べれば6 月はやや良くなった。これは、阪神淡路大震災から10 年目ということで、神戸市がコンベンションや大会な どの誘致を積極的に行っているためである。今月は特 にその関連の利用が多く、販売量が前年を上回った が、これは一時的な動きである。	

観光型旅館（経営者）	単価の動き	・5月に比べると来客数が少なくなっているが、首都圏や地方からの客が多く、利用状況にはあまり変化がみられない。	
観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・単価の安い部屋に予約が入っているのかといえばそうでもなく、高い部屋も同様である。少し夏前の様子をうかがっているような足踏み状態に見える。	
都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・今月は会議、宴会、レストラン部門の大口予約に日程変更があったほか、方針変更などによるキャンセルで売上が減少したが、大きな影響はなかった。	
タクシー運転手	お客様の様子	・気温の上昇に伴い、真夏日の増加による来客数の増加傾向がみられるものの、景気が良くなっている実感はない。	
タクシー会社（経営者）	お客様の様子	・客の交通費に関する節約の意識が相変わらず強い。とりわけタクシーにおいては、電車やバスのほか、自転車、徒歩などの他の交通手段で代用できるので、節約の状態が続いている。	
通信会社（経営者）	お客様の様子	・携帯電話業界では低価格競争が消費者に浸透しきっており、キャンペーンなども反響のないことが多い。	
遊園地（経営者）	来客数の動き	・愛知万博の影響で団体客が減っている。	
その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	来客数の動き	・空梅雨で天候には恵まれているが、競争環境の変化の影響で来客数はそれほど伸びていない。	
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	来客数の動き	・先月に無料体験入会キャンペーンを行ったところ、正式に入会する参加者の割合が例年よりも高かったことから、前年に比べて子どもの数が増えた。	
住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・地域的な問題であるが、別の町からの人の流入が非常に少ない。	
住宅販売会社（総務担当）	来客数の動き	・住宅販売現場、住宅展示場で前年に比べて来客数が減少しているが、契約数自体は横ばいである。	
やや悪くなっている	一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・ギフト需要が特別に入ったので売上は良かったが、連体以降は来客数が減少している。
	一般小売店〔家具〕（経営者）	単価の動き	・平均以上の単価の商品がほとんど売れず、平均以下の商品がやや動いているなど、客からは高級志向が感じられない。
	百貨店（企画担当）	競争相手の様子	・競合店のセールや、中元ギフトのインターネット受注の増加などによる来客数の減少が際立っている。
	コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・半年前に新規開店したばかりの近隣の競合店が、弁当類の値引き販売を実施した。その影響で弁当類の売上が微減となったが、値引きセールをすることからは、競合店もかなり厳しい状況にあるとみられる。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・平均小売価格が下がってきている。夏物商品は例年客単価が低下しているが、同じ商品でも収益性が低下している。
	その他専門店〔医薬品〕（店員）	販売量の動き	・話題商品が売れている時期もあったが、販売量が落ち着いてきたことから、販売見込み量が減少している。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宴会は順調だが、愛知万博の影響もあり宿泊の団体客の動きが悪い。宿泊の個人客も競合店との価格競争に陥っており、収入増につながらない。ここ2か月ほど前年割れが続いている。
	都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・ホテル全体の売上は、2月から5か月連続して前年割れが続く、厳しい状況にある。なかでも婚礼、宴会件数の減少が止まらず、宴会では列車の脱線事故による懇親会自粛の影響が大きい。また、レストラン部門でも利用客が減少している。
	都市型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・6月の宿泊は前年のようなスポーツ団体や興業団体の引き合いが全くなく、また修学旅行も600名の減と、それだけで稼働率が約7%のマイナスになっている。また5月に続いて間際の伸びも良くなく、大変厳しい状況になっている。宴会に関しては、婚礼はやや増えているが、一般宴会がスポーツ団体、興業団体の宿泊減により、前年の目標売上に対してもマイナスと厳しい状況になっている。

		タクシー運転手	来客数の動き	・いつもなら街を走っていると客をみつけられたが、最近客がみつかる時とみつからない時の差が激しい。いろいろなタクシー会社に聞いてみたが、売上は下降線をたどっており、1台当たりの収益の減少分を台数でカバーしている状態である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・例年この時期は傘代わりにタクシーを利用する客が多いが、良い天気が続いているので客が減少している。
		競輪場（職員）	お客様の様子	・6月に開催の特別競輪では、前年に比べて来客数、購買単価が悪化し、車券売上額が約20億円減少している。車券売上額の減少傾向に歯止めがかからない状況にある。
		その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	販売量の動き	・稼働日数のみをみると、今月は今までで一番悪いが、トータルでみるとこの悪化は一時的なものである。
		美容室（店長）	来客数の動き	・例年6月は売上が減少するが、特に今年は新しい客がなかなか増えないことから、一段と厳しい状況となっている。月の後半に暑くなったことで、セット販売を行っているホワイトニング化粧品の売上は若干伸びたが、全体をけん引するほどではなかった。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・物件の流通量にあまり変動はないが、客の要求価格が下がり気味になってきている。需要と供給のバランスは保たれているように感じるが、顧客ニーズに変化が出てきている。
	悪くなっている	一般小売店 [カメラ]（販売担当）	販売量の動き	・例年6月は雨がが多く、売上はダウンするが、今年はその以上に悪くなっている。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・農産物が野菜、果物ともに記録的な安い価格となり、売上の足を引っ張っている。同時に水産物の相場も軟調であり、一度止まりかけた単価の低下傾向が再びみられる。また、前半は涼しかったものの、後半に入り急に暑くなったことから、客足も昼間が特に悪い。
企業動向関連	良くなっている	金属製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が多いため、生産が間に合わず注文をさばき切れなくなっている。派遣社員と正社員の増員を検討している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・これまでの成果が徐々につつある。特に、不動産開発に関連する事業なので不動産業者と話す機会が多いが、地価はミニバブルのような状態でも、大阪市内でも取得価格が2倍近くになっている。
やや良くなっている		金融業（営業担当）	取引先の様子	・自動車部品製造業で価格転嫁が進んでいるほか、高級婦人服製造業、建築業でも売上が回復してきている。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・大阪市内やその近隣で収益物件や工場用地がよく売れており、購入希望も多い。
		不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・大阪府下ならびに阪神間の住宅地の価格が上昇気味である。また、商業地のテナント家賃も上昇し始めている。
		新聞販売店 [広告]（店主）	受注量や販売量の動き	・折込広告が数量、価格ともに順調である。購読者の減少も他系統との取り合いだけで、それ以外の理由では減少していない。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・夏枯れの時期になるはずが、テレビスポットなどの発注が結構多い。
変わらない		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・同じ鉄鋼関係でも、品種により受注の増減がかなりはっきりと出始めている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の商談には1年近くのリードタイムが必要であるが、引き合いは活発にあるものの、受注確定に至るケースは少ない。一見すると状況は良くみえるが、結果としてここ数か月は現状維持の状況である。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規の引き合い、見積依頼は減少しているが、既に年内の受注が確定している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引先に協定価格品の値上げが認められた。

	電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・薄型テレビについては、プラズマテレビは3か月前に比べ堅調な荷動きを示しているが、液晶テレビで若干の荷動き鈍化がみられる。しかし、気温の上昇でエアコンなどの空調関係が好調に推移しているため、全体としてはあまり変化のない状況である。	
	その他製造業〔履物〕（団体役員）	受注量や販売量の動き	・見本市を開催したが、受注量及び単価が前年割れであった。	
	建設業（経営者）	競争相手の様子	・民間工事では仕事量が増加傾向にないため、価格競争が相変わらず厳しい。	
	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・固定客である大手荷主の定期便はやや戻ってきた感があるが、特別便の減少がまだみられる。また、戸建住宅の一次部材の調達はやや増えてきているが、一般貸切りは依然厳しい状態である。	
	金融業（支店長）	取引先の様子	・配電盤関係の製造業者については、受注価格が折り合わず大変な状況となっている。	
	その他サービス業〔イベント企画〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏休み向けのイベントが少し増えてきている。	
	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	取引先の様子	・値上げが定着したために、商品の動きが悪くなってきた。	
やや悪くなっている	食料品製造業（経理担当）	取引先の様子	・3月からの売上が伸び悩んでいる。はっきりした原因が分からず、取引先も困っている。	
	繊維工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・通常の間屋経由での販売が30%減少し、小売店との直取引も15%減少した。また、翌月の受注はほとんどなく、当用買いが目立つ。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・6月初めから全体的に受注量が少ない。今月の稼働日数が普通の月より2日間多いため、最終的には受注量に大きな変化はなくなるが、同業他社をみると、かなり減少している会社が多い。	
	輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・関西国際空港での輸入貨物の取扱が減っており、常駐トラックが一週間フルに動くことが少ない。	
	広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・大手鉄道会社や地方公共団体の第3セクターなどで、販促に対する経費の締め付けが厳しい。	
	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・各種商店からは、夏物新商品などのメニューの差し替え注文が増えているものの、企業からの大口受注が減少傾向にある。	
	その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・ボーナス商戦を見据えたスポット市場については、各クライアントの発注の出足が悪い。昨年の実績ベースで100%を維持するのが難しい。オリンピック景気やデジタル家電ブームのあった昨年実績と比較するのは無理にしても、夏季スポット市場はやや規模が縮小しているように感じる。	
	悪くなっている	金属製品製造業（営業担当）	競争相手の様子	・鋼材値上げを見込んだ仮需の反動で荷動きが止まっている。
雇用関連	良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月比で堅調な伸びを示しており、建設業、情報通信業、医療、福祉、サービス業からの求人が全体の増加に大きく寄与している。
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	雇用形態の様子	・この春頃から、バス会社の運転士募集が活発になってきた。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・最近の新聞広告出稿が好調である。特に地元企業からの出稿が多い。業種では旅行、求人広告が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・鉄道新線の開業予定に伴う小売店進出により、パートなど従業員の求人が多数ある。また大型家電量販店のオープン、衣料品店のオープン予定など、卸、小売業において求人活動が上向いてきている。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・現在就職活動中の4年生からは、企業の新卒採用求人数の増加により、就職活動で苦戦しているという内容の相談が少なくなっている。また、学内で開催する企業セミナーをみると、企業からの参加希望は多いが、参加する学生は減少している。

変わらない	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・一般の人材派遣はかなり落ち着いてきたが、正社員採用や紹介予定派遣は相変わらず底堅い。ここへきて外資系の銀行や商社などが、かなり高度なスキルを持った人材を求めている。人を集めるのは難しいが、かなり良い金額を出すため集まらないことはない。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・金融機関の求人が一服してきた印象がある。
	求人情報誌製作 会社(営業担 当)	求人数の動き	・中小、零細企業の求人意欲の高まりが顕著であるが、求職者の意識の多様化により充足が困難であり、一進一退の状況となっている。
	職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・新規求職者数が対前年同月比で6か月ぶりに増加に転じた。また、新規求人数は対前年同月比で2けたを超える割合で増加した。
	職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・新規求職者のうち、パート希望者及び若年女子の動きに変化があり、注目している。
	民間職業紹介機 関(職員)	求人数の動き	・日雇い求人数が前年比でプラスの状態を維持している。
	学校[大学] (就職担当)	採用者数の動き	・内定報告の推移をみると、昨年度より少し良いが、大幅な回復ではない。
やや悪く なっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・年度初めの特需が一段落し、全体の稼働人数としては4、5月と比べて減少している。
	新聞社[求人広 告](担当者)	周辺企業の様子	・企業は求人したいものの費用をかけたくないため、1件当たりの予算が削られ、売上が伸びない。正社員採用は少なく、契約スタッフや派遣スタッフの募集が多い。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人は、3月をピークとして減少傾向にある。対前年比では依然として増加しているが、求人数を下支えしてきた請負、派遣求人がやはり3月をピークとして減少している。1件ごとの採用予定者数もかなり絞られており、20名以上の募集は極端に減った。
悪く なっている	-	-	-